

平成 30 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 ニッコー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 三谷 明子  
(コード番号 5 3 4 3 名証第 2 部)  
問合せ先 取締役サービス本部長 布川 一哉  
(TEL. 0 7 6 - 2 7 6 - 2 1 2 1)

## 通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 31 日付「平成 29 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)  
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,300	150	200	120	5 円 15 銭
今回発表実績 (B)	13,963	222	216	160	6 円 87 銭
増減額 (B - A)	663	72	16	40	
増減率 (%)	5.0	48.5	8.2	33.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	12,918	65	67	126	5 円 42 銭

(注) 当連結会計年度より、従来「営業外収益」の「受取賃貸料」に含めて表示していた収入および「販売費及び一般管理費」に含めて表示していた費用について、「受取賃貸料」は「売上高」として、対応する賃貸原価は「売上原価」として、それぞれ表示する方法に変更しました。前期実績(平成 29 年 3 月期)についても、当該表示方法の変更に伴う組替後の数値を記載しています。詳細は、本日公表の「平成 30 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の 3. 連結財務諸表および主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(表示方法の変更)をご覧ください。

### 2. 差異の理由

売上高は、主に機能性セラミック商品事業が牽引し、予想値を上回る結果となりました。

営業利益は、住設環境機器事業および機能性セラミック商品事業における増益が、生産数量減少に伴う製造固定比率の上昇等を要因とした、陶磁器事業における赤字幅拡大を補い、予想値を上回る結果となりました。

経常利益は、為替差損の発生が利益圧迫要因となったものの、上記の利益増加要因が寄与し、予想値を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、上記のほか、税金費用が当初見込みを下回ったことなどにより、予想値を上回る結果となりました。

以 上